

郡山市には、有名なうねめ伝説の他に、いくつかの歴史的なストーリーがあります。

蝦夷征伐で功績のあった坂上田村麻呂に由来する、郡山市田村町にあります「田母神」地区についてご紹介します。

「田母神」の名が歴史上にあらわれるのは、寛正年間(1455年)今から約550年前頃です。

当時の領主田村持顕がこの地に鶴ヶ城・霞ヶ城・庚申館の砦を築き次男重顕に守らせ、三春田村家の南部の守りとなりました。その際に姓を田村から田母神と改め、田母神村領主、田母神玄蕃頭重顕と称した史実に由来します。



田母神地区風景

その田母神地区には、「^{タモガミグウ}田母神宮」という遺跡があります。田母神字赤坂の田んぼの真中にあり、田村持顕公が田母神へ初めて赴かれた時に休憩したという遺跡です。後の世に田母神玄蕃頭利顕がこの場所に石の宮を建て祖先を祭り、田母神宮と崇め奉りました。これ以降、田母神家の氏神様として現在に伝わります。

さて、この田母神地区には古くから伝わる伝承歌があることをご存知でしたでしょうか？

甚句、土突き唄(洞突き唄)、餅つき唄など、今では滅多に唄われる機会が少なくなったそうですが、遠い記憶に残るこうしたふるさとの歌は、何とも郷愁を誘います。



田母神宮



奉納記念碑

この伝承歌の復活に向けた動きもあるようです。昔ながらの「こういう唄われ方をしていた」という民俗学的視点での伝承歌復活と、今の時流に合わせてアレンジしながら唄い継ぐという「唄は唄われてこそ」の視点での伝承歌復活があっという間だと思います。

地域に点在する文化遺跡と今後復活するであろう伝承歌を、地域活性化の鍵として持つ田母神地区。これらが融合して新しい地域の財産となり、やがて郡山市を代表する観光資源となっていくのかも知れません。

編集
後記

広報誌「あしすとはあく」第34号をお届けします。

NPO団体の紹介コーナーでは、「つなぐ」という役割を大切に取材し、記事を作っています。編集作業は大変ですが、熱い思いが伝わるように工夫を重ねて参ります。

次号は、協働をテーマにした市民活動交流広場をメインにした特集号とする予定です。様々な分野から、郡山の市民公益活動を知ってもらい、交流を深め、つなぐためのイベントです。お楽しみに!! (編集担当)

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

住所：〒963-8601
福島県郡山市朝日1丁目23番地7号
郡山市役所西庁舎3F

電話/FAX：024(924)3352
ホームページ：http://assistparkkoriyama.net/
メールアドレス：ap@utsukushima-npo.jp
開館時間：8:30-17:15
休館日：土、日、(祝・祭日)

運営受託者：NPO法人 うつくしまNPOネットワーク
住所：〒963-8835 福島県郡山市小原田2丁目19番地19号
電話：024(953)6092 FAX：024(953)6093
ホームページ：http://www.utsukushima-npo.jp/

あしすとはあく

郡山市市民活動サポートセンター (愛称：アシストパーク郡山) 広報誌
2014年9月1日発行



郡山市役所西庁舎より

第34号—目次—

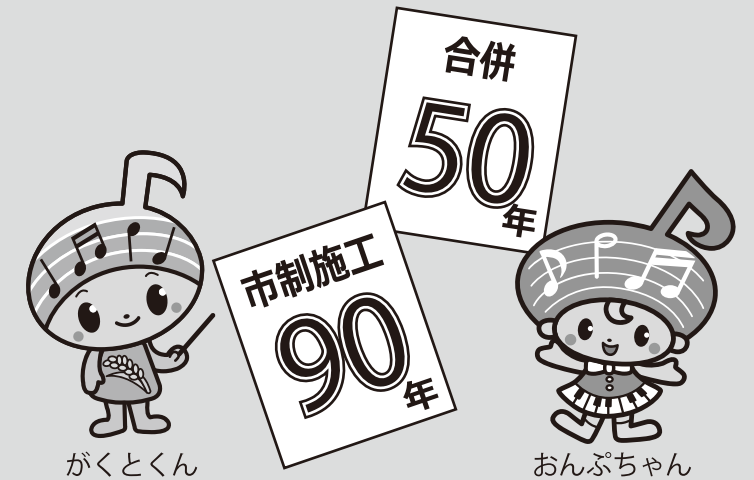
市制施行90周年、合併50年	表紙
郡山市の新しい団体を紹介 NPO法人 キューピットふくしま	2P
郡山市の新しい団体を紹介 NPO法人 須賀川トランポリン協会	3P
センター利用者の声 NPO法人 ほほえみの間	4P
市民活動応援講座のご案内	5P
ナイト相談会のご案内	
第2回こおりやまNPO連絡会議開催報告	
文化振興 郡山の地域財産を紹介	6P
編集後記	

市制施行90周年・合併50周年を記念

広報誌「あしすとはあく」第34号の発行日9月1日は、1924(大正13)年9月1日の郡山市市制施行90周年を迎える日でもあります。

また、1965(昭和40)年の1市5町7村による合併から50年目を迎えました。郡山市では、このことにより様々な記念事業が催されています。

市民公益活動に携わる皆さんの郡山市の未来に向けた記念事業へのご参加をお待ちしています。



がくとくん

おんぷちゃん